

血圧高い人多く心配

今日は、14人の浜通りからの避難者の方が受診されました。家族ぐるみで避難してきて家族がインフルエンザにかかり、自分も熱が出てきたという99歳の方も受診しています。避難所でのインフルエンザの流行が心配です。医師会の避難所訪問に、今日も医師・看護師が参加。よく眠れないという訴えが多く、様々なストレスも重なって血圧が高い人が多いという報告でした。



避難所を訪問する生協いいの診療所の松本所長とスタッフ

十六沼体育館でも炊き出しを計画中

東高校での炊き出しは、今日も西元副理事長と渡利支部の組合員を中心に実施しました。引き続き200人をこえる方々が避難しており喜ばれています。

避難所訪問の中で、大笹生の十六沼体育館は調理施設がなく、避難以降温かいものが出たのが日曜日の1回だけという話を聞き、それではとさくらみずクリニックと北ブロックの組合医療生協が立ち上がりました。飯坂地域の避難所を地域の包括支援センターが分担して支援しており、十六沼体育館はたまたま「はなひらの」ということで、話はさらにトントン拍子に進み、25日(金)にトン汁の炊き出しを行うことになりました。鍋やコンロは農民連から借り、野菜は大笹生の松川さん・肉は「はなひらの」から調達して、9時現地集合で実施する予定です。

支援物資を積んで避難所回り



尼崎医療生協からトラックで支援物資

支援物資が欲しいとのFaxを頂いた組合員の方に、午前から午後にかけて届けました。昨日のニュースに書いたように、今日も医療福祉生協連から2便の支援物資が届きました。出来るだけ早く必要な方に届けようということになり、夕方からマイクロバス2台に物資を積み込み、南方面と北方面に分かれて避難所となっている施設に届けて回りました。発熱している人が多く、熱さましシートかほしいなど新たな要望が出されており、対応を検討したいと考えています。